

## 平成 27年度第二回健康食品管理士会東北支部会研修会および市民公開講座のお知らせ

参加費は無料です。皆様お誘い合わせの上、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

### 記

日時：平成 27 年 11 月 29 日 13 時 30 分～16 時 30 分

場所：東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス 6F 63 教室(旧代々木ゼミナール)

宮城県仙台市仙台市宮城野区榴岡 2-5-26

東北福祉大学 [http://www.tfu.ac.jp/news/20150401\\_01.html](http://www.tfu.ac.jp/news/20150401_01.html)

内容：

13 時 00 分 受付

13 時 30 分 開会の挨拶 東北支部長 杉澤 淳

13 時 35 分 講演「新機能性表示制度における健康食品アドバイザースタッフの役割と可能性」

太田 篤胤 先生(城西国際大学 薬学部 医療薬学科 副学部長 臨床栄養学研究室主任教授)

講演概要：「食品表示法の施行により、保健機能食品に新たに機能性表示食品が加わった。新機能性表示制度に対する賛否は、立場によって大きく意見が分かれている。しかし本制度は透明性が高く、企業と消費者団体の直接的な対話も可能となった点で極めて画期的であり、より良い制度へと発展する柔軟性を持っている。少子高齢化の急激な進行に伴う国民医療費の激増とその負担者の減少という未曾有の難局を乗り切るためには、健康の維持・増進に効果的な施策が必要である。健康食品に関するアドバイザースタッフは、新制度の健全育成と有効活用によってアウトカムを出す必要がある。本講演では、アドバイザースタッフの役割とその可能性を紹介する。

14 時 35 分 質疑応答

14 時 40 分 休憩

14 時 50 分 講演「食塩と高血圧、そして血圧測定 ―予防医学としての高血圧医療―」

今井 潤 先生 (東北大学大学院薬学研究科・教授)

講演概要：「高血圧医療は、予防医学的な視点が一義的に必要である。高血圧は、遺伝と環境によりもたらされることから、環境要因の是正により、本来高血圧は一次予防が可能であろう。そうした環境要因の中で最も大きな影響を有するものが食塩(摂取量)である。更に高血圧の一次予防や、治療(二次予防)は、脳心血管病の一次、二次予防をもたらす。こうした高血圧の一次、二次予防を成就する第一歩は、個、あるいは集団の血圧値を正しく把握、評価することである。従って、血圧測定は高血圧医療の基本である。本論においては高血圧診療で最も有効な血圧測定法と考えられる家庭血圧測定につき述べ、更に食塩と高血圧の関連を、歴史的、病因論的、治療的見地から述べることにする。」

15 時 50 分 質疑応答

15 時 55 分 閉会挨拶

